

平成 27 年度 豚の改良増殖目標の検討値の算出根拠

平成 16 年 7 月

農林水産省生産局畜産部畜産振興課

1 純粋種豚の能力に関する目標数値の考え方

(1) 繁殖能力

区 分		平成22年度目標		平成27年度目標			
		現在値	目標値	現在値	目標値案	現在値設定の考え方	目標値設定の考え方
育成 頭 数	バークシャー	頭 8.0(7.9)	頭 9.0(8.9)	頭 8.5	頭 8.9	(社)全国養豚協会調 べ(12~14年)成績の平 均。	産子検定合格豚の成績 及び品種間のバランスを 勘案し設定。
	ランドレース	9.4(9.3)	10.5(10.4)	9.8	10.5		
	大ヨークシャー	9.6(9.5)	11.0(10.9)	9.8	10.6		
	デュロック	8.8(8.7)	9.5(9.4)	8.6	9.4		
子 豚 総 体 重	バークシャー	kg 31(41)	kg 37(49)	kg 49	kg 52	(社)全国養豚協会調 べ(12~14年)成績の平 均。	産子検定合格豚の成績 及び品種間のバランスを 勘案し設定。
	ランドレース	39(54)	43(59)	58	63		
	大ヨークシャー	41(57)	46(64)	57	63		
	デュロック	34(46)	40(54)	48	53		

注：平成22年度目標については2週齢時の成績。平成27年度目標については3週齢時の成績。  
括弧内は2週齢時の成績を3週齢時に換算した数値。

## (2) 産肉能力

区 分		平成22年度目標		平成27年度目標			
		現在値	目標値	現在値	目標値案	現在値設定の考え方	目標値設定の考え方
一日平均増体重	バークシャー	720 <sup>g</sup>	750 <sup>g</sup>	720 <sup>g</sup>	750 <sup>g</sup>	産肉能力直接検定（12年～14年）の成績の平均。 ただし、バークシャー種については、産肉能力直接検定及び現場直接検定（12年～14年）成績の平均。	直接検定成績が各項目ともAクラス以上のものの平均及び品種間のバランスを勘案し設定。 ただし、バークシャー種については、現場直接検定成績も勘案し設定。
	ランドレース	810	850	900	910		
	大ヨークシャー	860	870	900	920		
	デュロック	850	870	880	920		
飼料要求率	バークシャー	3.5	3.3	3.4	3.3	産肉能力直接検定（12年～14年）の成績の平均。	直接検定成績が各項目ともAクラス以上のものの平均及び品種間のバランスを勘案し設定。
	ランドレース	3.3	3.1	3.0	3.0		
	大ヨークシャー	3.2	3.1	3.1	3.0		
	デュロック	3.2	3.1	3.1	3.0		
背腰の太さ	バークシャー	31 <sup>cm<sup>2</sup></sup>	33 <sup>cm<sup>2</sup></sup>	30 <sup>cm<sup>2</sup></sup>	34 <sup>cm<sup>2</sup></sup>	産肉能力直接検定（12年～14年）の成績の平均。 ただし、バークシャー種については、産肉能力直接検定及び現場直接検定（12年～14年）成績の平均。	直接検定成績が各項目ともAクラス以上のものの平均及び品種間のバランスを勘案し設定。 ただし、バークシャー種については、現場直接検定成績も勘案し設定。
	ランドレース	36	36	37	39		
	大ヨークシャー	35	36	38	39		
	デュロック	38	40	39	41		
背脂肪の厚さ	バークシャー	2.1 <sup>cm</sup>	2.0 <sup>cm</sup>	2.2 <sup>cm</sup>	2.0 <sup>cm</sup>	産肉能力直接検定（12年～14年）の成績の平均。 ただし、バークシャー種については、産肉能力直接検定及び現場直接検定（12年～14年）成績の平均。	直接検定成績が各項目ともAクラス以上のものの平均及び品種間のバランスを勘案し設定。 ただし、バークシャー種については、現場直接検定成績も勘案し設定。
	ランドレース	1.7	1.7	1.6	1.6		
	大ヨークシャー	1.9	1.7	1.6	1.6		
	デュロック	1.8	1.6	1.8	1.6		

## 2 肥育もと豚生産用母豚の能力に関する目標数値の考え方

区 分	平成22年度目標		平成27年度目標			
	現在値	目標値	現在値	目標値案	現在値設定の考え方	目標値設定の考え方
一腹当たり生産頭数	9.9 頭	10.8 頭	10.3 頭	10.8 頭	家畜改良状況調査(12年～14年)成績の平均	家畜改良状況調査成績に基づくトレンド等により設定
育成率	91 %	93 %	92 %	94 %	家畜改良状況調査(12年～14年)成績の平均	家畜改良状況調査成績に基づくトレンド等により設定
年間分娩回数	2.2 回	2.3 回	2.2 回	2.2 回 ～2.3 回	経営診断(11年～13年)成績の平均	経営診断成績に基づくトレンド等により設定
一腹当たり年間離乳頭数	19.8 頭	23.1 頭	20.3 頭	22.8 頭	家畜改良状況調査及び経営診断(11年～13年)成績の平均より算出	家畜改良状況調査及び経営診断成績に基づくトレンド等により設定

注：育成率及び1腹当たり年間離乳頭数については、平成22年度目標については2週齢時の成績。平成27年度目標については3週齢時の成績。

## 3 肥育豚の能力に関する目標数値の考え方

区 分	平成22年度目標		平成27年度目標			
	現在値	目標値	現在値	目標値案	現在値設定の考え方	目標値設定の考え方
出荷日齢	200 日	172 日	200 日	188 日	畜産物生産費調査(12年～14年)成績の平均	畜産物生産費調査成績に基づくトレンド等により設定
出荷体重	108 kg	112 kg	110 kg	113 kg	畜産物生産費調査(12年～14年)成績の平均	畜産物生産費調査成績に基づくトレンド等により設定
飼料要求率	3.0	2.9	3.0	2.9	畜産物生産費調査(12年～14年)成績より推計	畜産物生産費調査成績に基づくトレンド等により設定